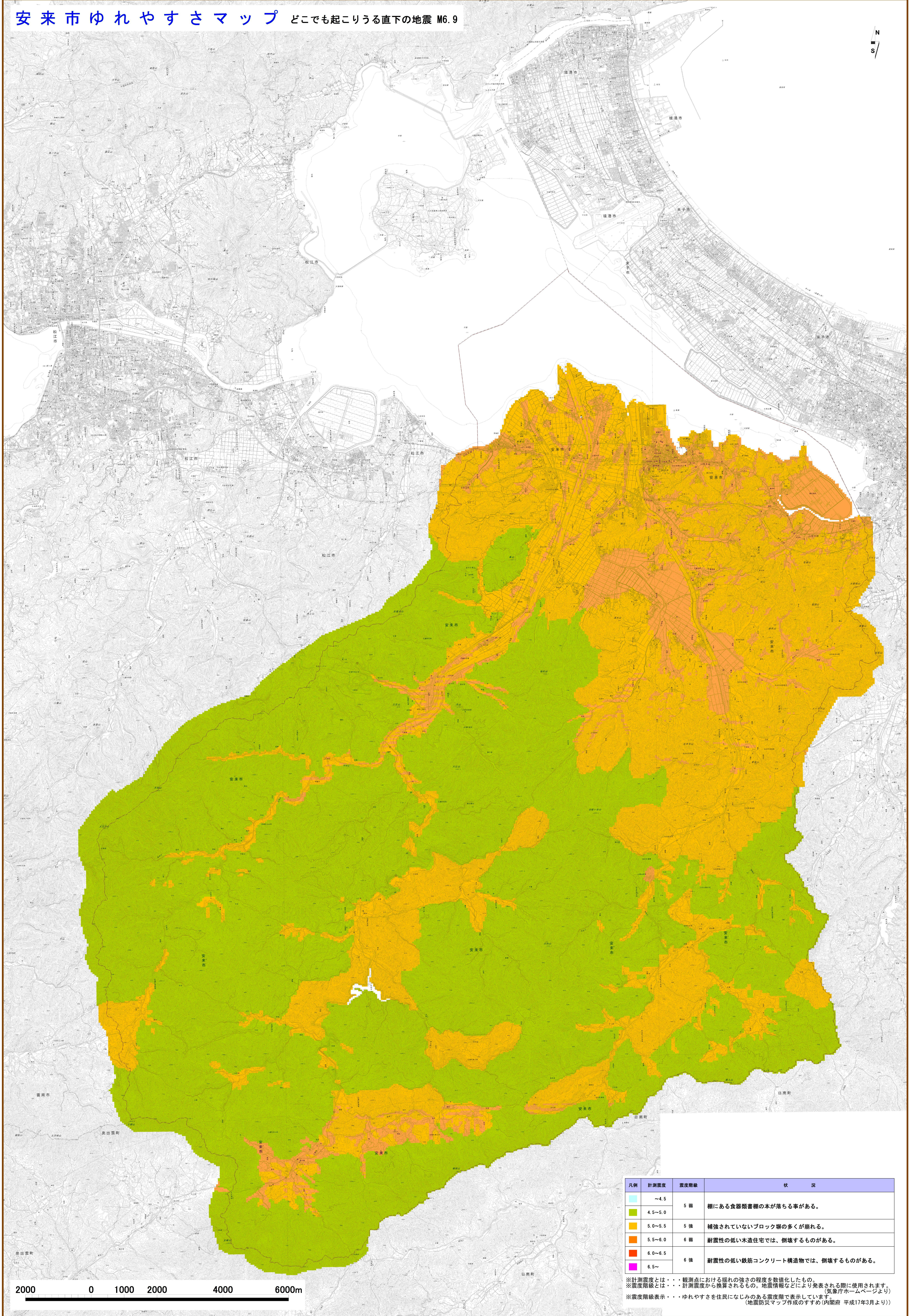


安来市ゆれやすさマップ どこでも起こりうる直下の地震 M6.9



凡例	計測震度	震度階級	状況
■	～4.5	5弱	棚にある食器類書棚の本が落ちる事がある。
■	4.5～5.0	5強	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。
■	5.0～5.5	6弱	耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものがある。
■	5.5～6.0	6強	耐震性の低い鉄筋コンクリート構造物では、倒壊するものがある。
■	6.0～6.5		
■	6.5～		

※計測震度とは・・・観測点における揺れの強さを数値化したもの。
 ※震度階級とは・・・計測震度から換算されるもの。地震情報などにより発表される際に使用されます。
 ※震度階級表示・・・ゆれやすさを住民になじみのある震度階級で表示しています。
 (気象庁ホームページより)
 (地震防災マップ作成のすすめ(内閣府 平成17年3月より))